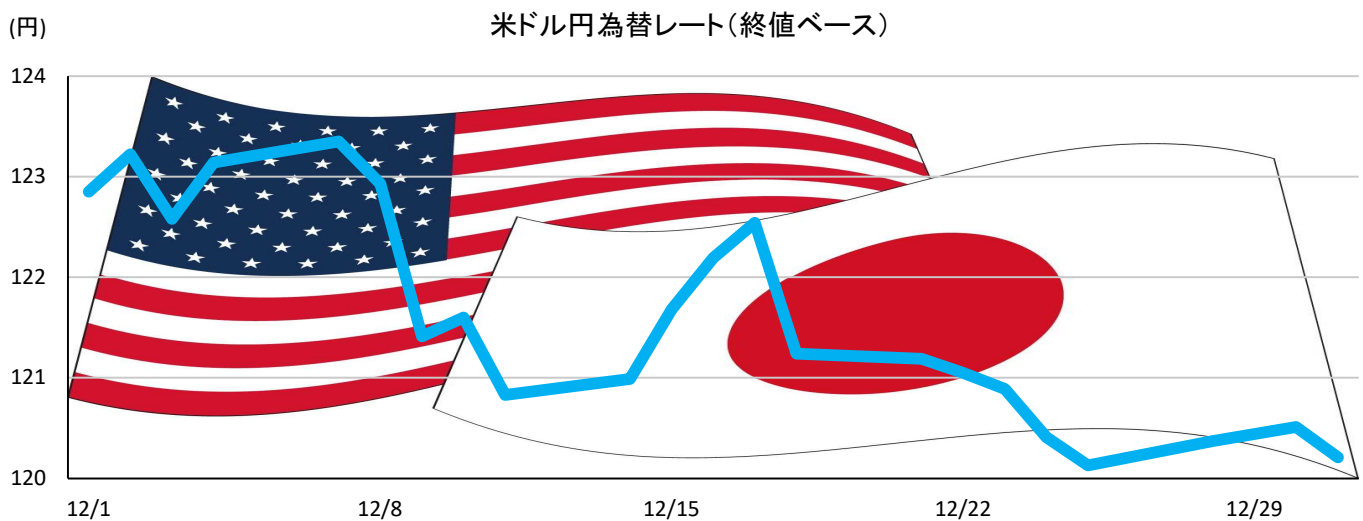


MARKET REVIEW

先月の振り返り：12月のドル円相場は、120円前半～123円前半のレンジで推移した。FOMCは16日、大方の予想通り、政策金利の引き上げを決定した。予想分布図（ドットチャート）でも、年4回ペースでの利上げが示唆された。ただ、利上げ自体は予想の範囲内であり、その後は次第に上値の重さが目立つ値動きをたどった。下げ止まる兆しが見えない原油先物価格の続落を受け、市場のリスク回避姿勢も強まる中、ドル円は軟調に推移。年末を控え、取引が閑散とする中、米国の利上げ決定前よりも、円高ドル安水準である120円台前半で上値重く推移した。



EXTRA VISION

今後の展開：2016年のドル円は、引き続き日米の金融政策が、カギとなってくるだろう。昨年12月、利上げを決定した米国は、FOMCの声明文にて、労働市場の改善ぶりを強調し、利上げに踏み切った主因に掲げた。物価に関しては、依然として目標（前年比プラス2%）を下回っていると見た。今後、エネルギー価格の下落やドル高の影響が一巡し、労働市場が改善するに連れて、目標に向かって物価の伸びが高まるとしたものの、今後の動向を注視するとしている。そのような不確定要素もあり、市場は、予想分布図（ドットチャート）の結果に関して、注目はするが、額面通りには受け取らないだろう。今後の利上げペースを占う上で、引き続き、米国の雇用や物価に関する統計が注目されるが、2016年の米国の利上げは、年4回のペースには届かない可能性もある。そうなると、ドル円は、次第に失速しても不思議ではない。

今月の主な経済指標

日付	時間	国	指標名	重要度
1/6 (水)	22:15	US	12月 ADP雇用統計 前月比	☆☆
1/8 (金)	22:30	US	12月 雇用統計	☆☆☆
1/15 (金)	22:30	US	12月 小売売上高 前月比	☆☆
1/20 (水)	22:30	US	12月 消費者物価指数 (CPI)	☆☆
1/21 (木)	21:45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆
1/28 (木)	4:00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆
1/29 (金)	***	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆